業績書(教育職員免許法施行規則第22条の6号関係)

氏 名	中山 明	学 位	博士(学術)
担当授業科目	I	科系数学Ⅰ及び演	習

1 経歴, 学会及び社会における活動等

経歴

- ·東京理科大学理学部応用数学科入学 昭和 51 年 4 月
- ·東京理科大学理学部応用数学科卒業 昭和 55 年 3 月
- · 東京理科大学理学部数学専攻科入学 昭和 55 年 4 月
- ·東京理科大学理学部数学専攻科修了 昭和 56 年 3 月
- 電気通信大学大学院電気通信学研究科修士課程入学 昭和 56 年 4 月
- · 電気通信大学大学院電気通信学研究科修士課程修了(工学修士) 昭和 58 年 3 月
- · 筑波大学大学院博士課程社会工学研究科入学 昭和 58 年 4 月
- 筑波大学大学院博士課程社会工学研究科単位取得後退学 昭和 61 年 3 月
- · 小樽商科大学管理科学科助手 昭和 61年4月~平成2年3月
- · 文部省情報処理内地研究員(筑波大学社会工学系)平成1年4月~平成2年3月
- ·筑波大学博士(学術) 平成2年3月
- ·福島大学行政社会学部助教授 平成 2年4月~平成 12年3月
- ·福島大学行政社会学部教授 平成 12 年 4 月~平成 16 年 9 月
- ・文部省内地研究員(大阪大学) 平成12年4月~平成13年3月
- ・福島大学共生システム理工学類教授 平成 16 年 10 月~現在に至る
- ・日本 OR 学会フェロー (平成 23 年 4 月)

学会活動

- [1] 日本 OR 学会東北支部副支部長 平成 24 年 4 月~平成 26 年 3 月
- [2] 日本 OR 学会代議員 平成 23 年 4 月~現在に至る
- [3] 日本 OR 学会フェロー会議 平成 23 年 4 月~現在に至る
- [4] 日本 OR 学会東北支部長 平成 26 年 4 月~現在に至る
- [5] 日本 OR 学会無任所理事 平成 27 年 4 月~平成 29 年 3 月
- [6] 平成 28 年度日本 OR 学会研究発表会実行委員,シンポジウム委員長
- [7] 日本 OR 学会支部理事 平成 29 年 4 月~現在に至る
- [8] 平成 30 年度日本 OR 学会東北支部若手研究交流会実行委員長

所属学会:日本オペレーションズ・リサーチ学会,日本応用数理学会,Society for Industrial and Applied Mathematics(SIAM)所属

社会活動

- ・目黒会(電気通信大同窓会)東北総支部福島県幹事(平成19年6月~平成28年5月)
- ・目黒会東北総支部副支部長(平成28年6月~現在に至る)

2 著 書

著 書 名	単著・共著の別	発 行 所 名	刊行年月日	備考
ネットワーク理論	共著	アイ・ケイ・コーポレーシ	平成 26 年 2	
		ョン	月	

3 学術論文等

3 学術論文等				
学術論文等の名称	単独・共同の別	発表雜誌等名	発行年月日	備考
[1] A strongly polynomial time	共著	Discussion paper,	平成31年2	
algorithm for a LP problem		Symbiotic Systems	月 9 日	
with a kind of Leontief		Science, Fukushima		
coefficient matrix: Refinement of a		University(審査なし)		
method of Adler and Cosares				
[2] A relation between the	単独	Discussion paper,	平成29年6	
generalized capacitated minimum		Symbiotic Systems	月 2 日	
cost flow problem and Leontief		Science, Fukushima		
substitution system		University(審査なし)		
[3] A New Efficient Scaling	共著	Proceedings of 2015 Asian		Best
Algorithm for Finding Shortest		Conference of	月 11 日	Paper
Paths in a Network with an		Management Science &		Award を
Integral Length Function		Applications, Paper No.		受賞
		35、1-1		
[4] Improved Algorithm Using	共著	Asian J. of Management	平成 25 年	
Generalized Flows for an		Science and Applications,	1 /4/4 = 0	
Optimization Problem in a Cash		Vol. 1, No.1, 67-95		
Flow Network		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
[5] Dijkstra-based algorithms for	共著	Journal of the	平成 24 年	
the shortest path problem with		Operations Research Society of Japan, Vol.56,		
edges of negative length		No.2、137-154		
		Proceedings of 2012		
[6] New Dijkstra-Based Algorithm for the Single-Source Shortest	共著	Asian Conference of	平成 23 年	Best
Path Problem: Successive		Management Science & Applications,		Paper
Applications of Reduced Length Function		319-328		Award 受
Zongai i anonon				賞
·				

4 学会発表等

発表課題の名称	単独・共同の別	発表学会等の名称	発表年月日	備考
[1] ある種のプリ・レオンチェフ行	共同	日本OR学会東北ORセミナ	平成 30 年 12	
列を係数行列にもつ線形計画問題		一若手研究交流会(飯坂温	月1日	
に対する強多項式時間の解法		泉湯野市民センターにて)		
[2] キャッシュフロー・ネットワー	共同	日本OR学会東北ORセミナ	平成 29 年 11	
ク上のある最適化アルゴリズム		ー若手研究交流会 (蔵王セ	月 26 日	
に対する実装について		ンタープラザ にて)		
[3] ネットワークフロー問題とレ	共同	日本OR学会東北ORセミナ	平成 29 年 11	
オンチェフ行列との関連について		ー若手研究交流会 (蔵王セ	月 26 日	
		ンタープラザ にて)		
[4] 一般化ネットワーク内の最小	共同	日本OR学会東北ORセミナ	平成 28 年 11	
コストサーキュレーション問題に		一若手研究交流会(東北大	月 19 日	
関わる Wayne の定理の別証明		にて)		
[5] ゲインつきフロー問題の最適	共 同	日本OR学会東北ORセミナ	平成 27 年 11	
フローに関する特徴づけについて		一若手研究交流会(東北大		
		川渡セミナー会場にて)		
[6] ネットワークフロー問題にお	 単独	 電子情報通信学会東北支	平成26年1月	
ける Scaling 法について		 部の学術講演会(招待講	24 日	
C C		 演),東北学院大工学部多		
		賀城キャンパス,1 号館 3		
		階 第2会議室)		
[7] Negative cycle detection by a	井 同	平成24年度日本0R学会秋	平成24年9月	
Dijkstra-based algorithm		季研究発表会,名古屋工大	13 日	
[8] Dijkstra-based algorithms for	共同	平成23年度日本OR学会秋	平成23年9月	
a shortest path problem with		季研究発表会,甲南大学	16 日	
edges of negative length (part 1)				
[9] Dijkstra-based algorithms for	共同	平成23年度日本0R学会秋	平成23年9月	
a shortest path problem with		季研究発表会,甲南大学	16 日	
edges of negative length (part 2)				
<u> </u>	l]	1	